


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和2年 8月 17日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第4号	質問議員	12番	富田陽子	
件名	やまきた子ども知っ得キャンペーンを				
要 旨					
<p>全国的に新型コロナウイルスの収束が見えない中で、山北町においては感染者はゼロながらも、経済活動や住民の生活への影響は長期化しています。とりわけ、子どもたちが外出自粛や校内の行事の中止で、学ぶ機会や外へ出る機会が失われ、プールや公共施設の閉鎖や利用制限等により、安心して遊べる場がないことや、商工観光業への打撃は深刻です。</p> <p>このような状況をふまえ、従来の視点を転換し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で山北町内での経済・人の循環を図ることが、今後の町づくりにとって重要であると考え、以下の質問をします。</p> <p>1. 6月定例会で景気回復の一環として町内クーポン券発行についての質問があり、「商工会等と相談しながら町内クーポン券などがあれば検討していきたい」との答弁があったが、その後進展はあったか。</p> <p>2. 商工観光業へのメリット、子どもたちへのメリットや町の将来へのメリットが想定できる事業として、各家庭の子どもの数に応じて町内で使える観光補助券を配布する「やまきた子ども知っ得キャンペーン」を実施したらどうか。具体的には商工会、企業、体験活動実施主体の法人や個人などに協力を募り、協力事業者がわかるよう地図付きのパンフレットを作成し、観光補助券と共に配布する。これにより山北全体が可視化され、町の魅力を再発見し、町内循環型の観光や経済の活性化が図られ、ひいてはこれが将来のまちづくりの基盤になると考える。このような観光補助券と商工観光業マップづくりの実現に向け、官民一体となって取り組むのはどうか。</p>					